

専門学校東京 CPA 会計学院

学校関係者評価報告書

令和 3 年度

実施日 令和 4 年 5 月 15 日

※令和 3 年度学校自己評価（基準日：令和 3 年 5 月 1 日）をもとに評価実施

令和3年度 学校関係者評価報告書について

学校法人高橋学園専門学校東京 CPA 会計学院は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るため学校自己評価を実施しています。この度、令和元年度より、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。令和2年度からは学校自己評価及び学校関係者評価を実施しております。

本校との関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・会計関連業界団体の皆様 や会計・教育等に見識をお持ちの方々に令和3年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院

校長・学校評価委員会委員長

高橋 淳二

学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関の指導・ガイドラインをふまえ、卒業生、会計関連業界団体・企業等3名の方々に評価委員をお願いいたしました。

【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前に示し、令和4年5月15日に、卒業生、会計関連業界団体・企業等の委員にご参集いただき、令和3年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和3年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の、教育課程編成、各種計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。

専門学校東京 CPA 会計学院 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【卒業生】【関連業界団体・企業】

税理士法人 R I Z E 代表社員 税理士 田口益巳

協立管理株式会社 代表取締役 荒川 隆志

土屋会計事務所 税理士 熊崎富久夫

学校関係者評価者が所属する企業・団体の詳細は公式サイトをご参照ください

税理士法人 R I Z E <http://risetax.jp/>

協立管理株式会社 <http://www.kyoritsu-kanri.co.jp/>

土屋会計事務所 <https://tcy-tax.com/>

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-01～05】理念・目的・育成人材像

評価者意見・質疑

- 少子化環境のなか、専門学校運営において、魅力的な教育理念とそれを裏付ける成果を出す必要がある。新しい取り組みは実施しているのか。
- 新型コロナウイルスの対応で、リモート授業などを実施していると思うが、早めに対面授業を再開し、学生も真剣に授業に取り組んでいる様子で安心した。
- 近年、税理士試験の受験者が減っているが、CPA の生徒は、依然として税理士志望者が多く、これからも指導を強化して欲しい。
- コロナ禍もあって就職環境は大きく変わっているが、就職率の向上に努めて欲しい。
- プログラム教育が注目されているが、会計にかかわるものとして、そこまで高度なスキルは必要とされないものの、ある程度の PC スキルは必須である。ぜひカリキュラムにも織り込んで欲しい。
- CPA にかぎらず、若者のコミュニケーション能力について、憂慮される状況が続いている。簿記や税務の指導だけでなく、人間力の指導も強化して欲しい。
- コロナ禍で大変な目に遭った経営者が多数いる。会計事務所に勤めるのなら、クライアントの気持ちに寄り添う感覚が必須である。

学校からの回答

当校は本年度より高等課程「会計エレメンタリー科」を開設し、次世代を見据えた学校体制の構築を目指している。募集の状況は芳しくないが、これから先、高等課程の成否が学校の命運を分けるものと覚悟している。

コロナ禍を受けて、社会を取り巻く環境は様変わりした面がある。会計に携わる者が、どのような形で社会に貢献していくべきか、改めて問われているものと感じている。

困難な時代だからこそ、人に寄り添う心が重要というのは学校としても強く感じているところである。学生たちの指導においても、人間力教育の重要性を今一度点検していきたいと考えている。

特に就職指導においては、単に内定をもらえば完了という形になってはならないと考え、社会に出た後で、しっかりと学生自身の成長を果たせる環境を得ることが重要であるという指導を行っていく。

基準 2 学校運営

点検項目【2-06】運営方針

点検項目【2-07】事業計画

点検項目【2-08】運営組織

点検項目【2-09】人事・給与制度

点検項目【2-10】意思決定システム

点検項目【2-11】コンプライアンス体制

点検項目【2-12】情報公開

点検項目【2-13】情報システム

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準3 教育活動

点検項目【3-14~19】目標の設定

評価者意見・質疑

- 簿記検定や国家試験に合格することは非常に重要なことであるが、実際に実務に就いてから役に立つスキルは他にもたくさんある。
- 特に税理士事務所では、税務の高度な専門知識だけではなく、他に民法などの法律の知識も不可欠になっている。そのため、そういう分野の指導も重要と考える

点検項目【3-20~21】教育方法・評価等

評価者意見・質疑

- コロナ禍においても、教育の質を低下させずに、対面授業を進めてきたことは評価されるべきことだと思う。とはいえ、多くの感染者を出してしまえば、学校のレピュテーションリスクになりかねない。
- 教科書を使わない独特の指導方法は貫いてほしい。

学校からの回答

新型コロナウイルス対応については、学園教職員が連携して、対応したものの、状況の目

まぐるしい変化に翻弄されたというのが正直な感想である。感染者を出したという報道によって学校の評価が下がったケースもあると聞くので、安易に判断はできなかったものの、過度に安全策を採って本来の目的である教育がおざなりになってしまっは誠に不本意である。ガバナンスの体勢について検討してきたが、最終的には校長・理事長の権限をもつて、判断せざるを得ない状況であった。

幸いにも、多くの感染者を出すことにはならず、いまのところ安堵しているところである。

点検項目【3-22】成績評価・単位認定等

点検項目【3-23~26】資格取得等の指導体制

点検項目【3-27】教員研修等

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準4 学修成果

点検項目【4-28~32】就職率・資格取得率等

評価者意見・質疑

- 就職率は悪くはないものの、内容的に、実際の状況はどうなっているのか。
- 税理士事務所の求人は多いと聞くが、特殊な世界なので、希望の就職先にアプローチできているのか疑問に思う。

学校からの回答

就職指導においては、様々な困難があり、近年では、簿記検定への対策期間が長くならざるを得ず、就職活動に専念できないという悩みがある。求人は好調であるが、学生それぞれの性格にあった求人を探すのは特に大変である。可能な限り、学生の希望を把握して、ミスマッチのない就職先の選定に向けて努力していくつもりである。

税理士事務所等については、コロナの状況も緩和しつつあるので、事務所説明会などを開催して、事務所の方と直接相談できる機会を設けていく予定である。

点検項目【4-30】退学率の低減

評価者意見・質疑

- コロナの影響で退学となったような学生がいたそうだが、学校として、どうにかサポート

できなかつたのか。

□近年、若者は不登校が常態化していると聞く。CPA に入学してくる学生に、そのような子は少ないように思うが、実態としてどういう状況なのか。

学校からの回答

コロナの影響だけで退学となった学生はいないと思われるが、退学原因の一つになっている学生はいるように思われる。教室での感染よりも、自宅からの長時間の電車通学によって、感染するのではないかという懸念があった学生がいた。同居する家族に、高齢者や持病がある人がいるということで、本人も責任を感じて、学校から足が遠のいてしまったところがあったということである。休学などでの対応もできるとしたが、退学を選択することとなった。

それとは別に、かつての学生と違って、通学に難のある学生は散見される。メンタルケアやカウンセリングなど可能な限り対応していきたい。

点検項目【4-31~32】卒業生の社会的評価

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準5 学生支援

点検項目【5-33】就職等進路

点検項目【5-34】学生相談

点検項目【5-35~38】学生生活

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【5-39】保護者との連携

評価者意見・質疑

□学生の通学・登校に関して、保護者とのコミュニケーションをとるような機会があったのか。

学校からの回答

コロナ禍もあって、通学に支障がある学生が出た際には、両親等との話し合いを行い、打開策を一緒に考えた。

点検項目【5-40~43】卒業生の支援、社会との連携等

評価者意見・質疑

- 転職を考える OB・OG が学校に気軽に相談に来られる体制を作って欲しい。
- 就職後に転職希望者をサポートする体制を構築する話は進んでいるか。

学校からの回答

これまでも、卒業生から転職の相談を受けてきてはいるが、まだ、体制として整備には至っていない。今後の課題と考えている。

基準 6 教育環境

点検項目【6-44】施設・設備等

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【6-45】学外実習・インターンシップ等

評価者意見・質疑

- インターン積極的に実施していない状況と、その理由に変わりはないか。

学校からの回答

一般的には、インターンの経験は価値あるものと考えられるが、やはり、会計専門職の分野においてはインターンシップの有効性は依然として乏しいと考えている。会計事務所などでも受け入れ態勢があると聞いているので、実態を調査して、活用できるかどうか模索していきたい。

点検項目【6-46】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検項目【7-47~49】学生募集活動

評価者意見・質疑

学生募集の状況は依然として厳しいものと思うが、コロナ禍もあって、どのような学生募集活動を行って生きたのか。

学校からの回答

昨年度同様、対面式の学校見学会や体験入学会は開催が不可能な時期が長く、ZOOMを用いたリモート入学相談会を開催してきた。ある意味で、実際に来校するよりも敷居が低いため、一定の成果はあったものと思われる。

点検項目【7-50】学生学納金

評価者意見・質疑

高等教育の無償化政策はどのように実施されているのか。

学校からの回答

高等教育の修学支援新制度の適用が始まり、様々な手続き上の課題はあったものの、なんとか順調な運用ができています。新入生及びその両親などに向けて、誤解や不備がないよう、制度の周知に努めていきたい。

基準 8 財務

点検項目【8-51】財務基盤

点検項目【8-52】予算・収支計画

点検項目【8-53】監査

点検項目【8-54】財務情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 9 法令等の遵守

点検項目【9-55】関係法令、設置基準等の遵守

点検項目【9-56】個人情報保護

点検項目【9-57】学校評価

点検項目【9-58】教育情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 1 0 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-59】社会貢献・地域貢献

点検項目【10-60】ボランティア活動

点検項目【10-59】公開講座・教育訓練

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 1 1 国際交流

点検項目【11-62~65】国際交流

この項目は、ご意見がありませんでした。

以上

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院

〒164-0001 東京都中野区中野 3-39-9

学校関係者評価報告書についてのお問合せ先

経営企画部